

研究紀要をご覧ください

校長 相川 保 敏

本校では、コロナ禍により中断しておりました一年間の実践研究を「研究紀要」としてまとめ、昨年度より保護者の皆様にもご紹介しております。

学校は子どもたちを教育する場であると同時に、よりよい教育の在り方を絶えず研究し続ける場でもあります。研究紀要の作成は、教職員一人ひとりが日々の実践を振り返り、その成果や課題を整理するとともに、次の実践へとつなげていくための大切な営みです。また、それらを共有することで学校全体の教育力を高め、より質の高い教育の実現を目指しています。

昨年度は学校通信夏休み号において「2024年度研究紀要」のご紹介と閲覧方法をお知らせいたしました。今年度は「2025年度研究紀要」を一カ月早くご案内できる運びとなり、本日より閲覧いただけるようになりました。

本校では、これからの社会を生きる子どもたちに必要な力として、知識を身に付けるだけでなく、その知識を活用して考え、判断し、他者と協働しながら課題を解決していく力を育むことを大切にしています。2024年度は、「主体的に学び、人とつながる力を育む」を研究テーマに掲げ、「正解を知ること」だけでなく、「自ら考えること」「友達と話し合いながらよりよい答えを見いだすこと」「自分の考えを言葉で表現すること」を重視して実践研究を進めてまいりました。2025年度は、その取組を継承しながら、「グローバル社会で活躍できる人材としての礎をつくる」を研究主題に掲げ、探究的な学習を中心とした実践に取り組んでおります。子どもたちが与えられた課題に取り組むだけでなく、自ら問いをもち、自ら学びを進めていくことができるよう、「選択と自由」を大切にしながら学習活動を展開

してまいりました。

また、本校の子どもたちは、互いに学び合うことに大きな強みをもっています。自分の考えを伝え、友達の考えに耳を傾け、ときには異なる意見に出会いながら新たな視点を獲得していく経験は、子どもたちの成長にとってかけがえのないものです。そのため、本校では学校だからこそ実現できる協働的な探究活動を大切にまいりました。さらに、課題解決にあたっては、インターネットによる情報収集だけでなく、実際に試してみる活動や現地での体験、専門家から学ぶ機会なども積極的に取り入れております。

社会が大きく変化する時代だからこそ、子どもたちには正解を待つのではなく、自ら問いを立て、仲間と協力しながら新たな価値を創り出していく力が求められています。本研究も、そのような力を育む教育の実現を目指した取組の一つです。

まだまだ道半ばではありますが、今後も実践を積み重ねながら、教育のさらなる充実に努めてまいります。ぜひ下記の【研究紀要閲覧方法ならびに留意点】をご参照のうえ、ご覧いただきご家庭での話題としていただきたいと思います。その際に、他学年の活動にも目を通していただき、相小の子どもたちがどのように学び、成長しているのかをご確認いただければ幸いです。



【研究紀要閲覧方法ならびに留意点】

2025年度研究紀要は、下記 URL を打ち込んでいただくか、上記 QR コードを読み取り、下記に示すパスワードを打ち込むことで、ご覧いただけます。目次の各実践や報告書の「タイトル」(巻頭言など)をクリックすると、そのページまでとぶことが可能です。また、各実践や報告書の最後のページの右下にある「目次へ」をクリックすると、目次へ戻ることも可能です。なお、児童の肖像権・著作権の観点から、限定公開となっておりますので、SNS 等での発信はおやめください。

※ URL

※ パスワード